PETER DAVID BETER — 音声書簡 第1号

1975年6月21日

テーマ1 フォート・ノックスの証拠を問う

1 ベーターはフォート・ノックスの金をめぐる論争と、隠蔽の疑惑から話を始める。



2 1974年9月の視察と、その後の金準備の監査に疑問を呈する。



3 1月の売却と、6月30日に予定された金の競売を疑問視する。



4 技師スタンリー・テイタムは金庫から金を搬出する仕組みを知っていたと語る。



5 ベーターはテイタムの未完の原稿と、1973年の死について語る。



6 鍵の第12章はゴールドウォーターが持つという。



7 金を盗んだとゴールドウォーターを非難しているわけではない、と明言する。



8 ベーターは原稿と隠蔽疑惑について答えを求める。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第1号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER — 音声書簡 第1号

1975年6月21日

テーマ2 フォードの言動とベーターの警告

1 ベーターは欧州への公式訪問中にフォードが転倒したことを取り上げる。



2 フォードが6月16日の時点ですでにロックフェラーを支持していたことに触れる。



3 ベーターはフォードの後をロックフェラーが継ぐというルイーズ・ボイヤーの予測を振り返る。



4 フォードは6月17日の演説で、中小企業の経営者に景気回復を約束する。



5 ベーターは「根本的な選択」への言及をロックフェラーの委員会と結びつける。



6 経済的な困窮から、1976年の国民投票を求める圧力が強まると予測する。



7 新憲法案は権力を集中させるものだと主張する。



8 ベーターは安心させる見出しの裏に危うい選択が隠れうると警告する。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第1号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER — 音声書簡 第1号

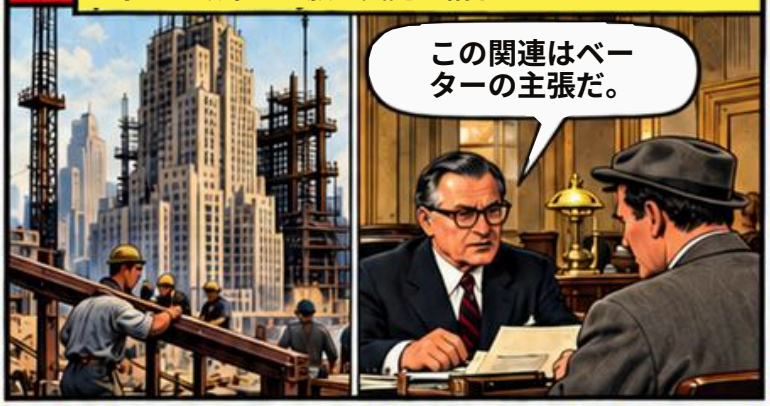
1975年6月21日

テーマ3 ベーターが語るネルソン・ロックフェラー

1 ベーターはロックフェラーが権力を握るまでの経緯を広く語り始める。



2 ロックフェラー・センター、銀行業、ニューディール政策を一族の支配と結びつける。



3 石油をめぐる利害が戦時の戦略と真珠湾に影響したと主張する。



4 対外援助を、一族の企業を潤す手段として描く。



5 ロックフェラーが国連と軍事政策を動かしていると非難する。



6 ニューヨーク州の投票機、税、債務をロックフェラーの州政と結びつける。



7 ベーターは合衆国憲法修正第25条とウォーターゲート事件をロックフェラーの野心に結びつける。



8 最後に独裁の危険に警鐘を鳴らし、市民に行動を求める。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第1号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。